

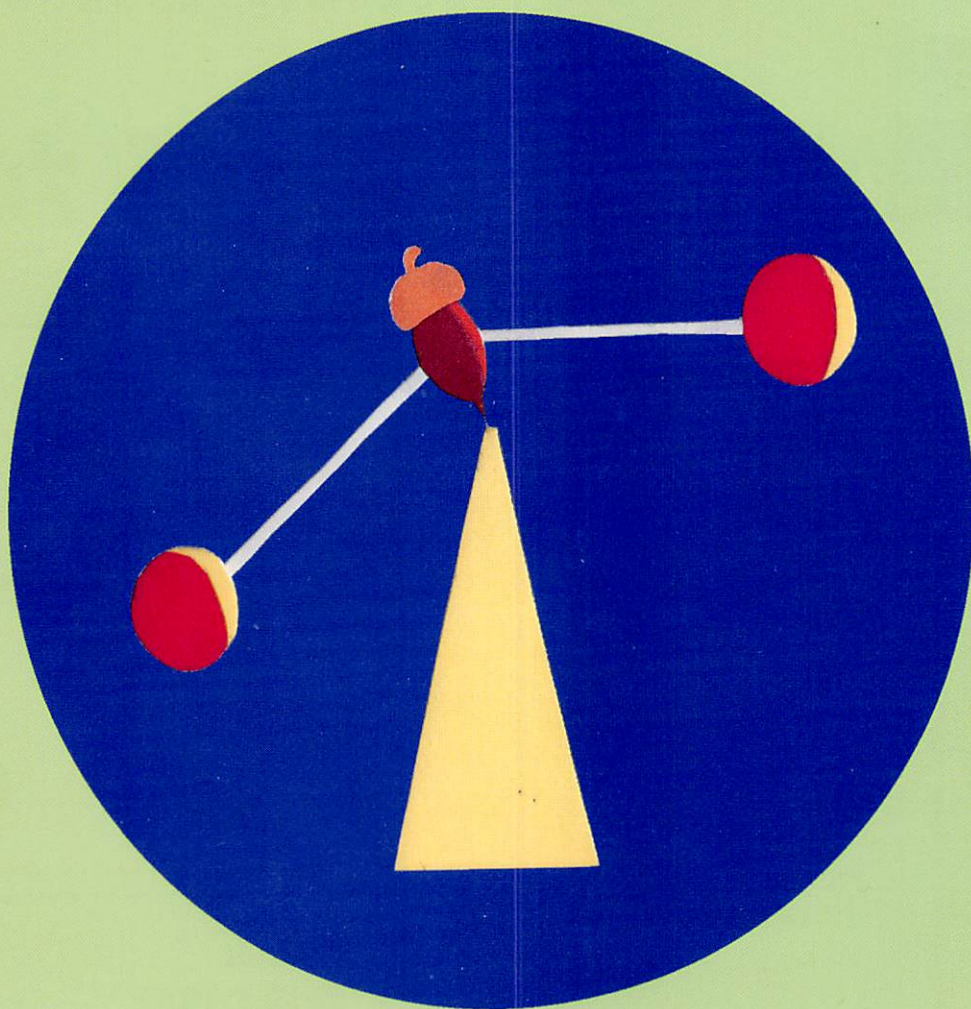
きらりとてくまてく

創刊号

特集1

「働く上での不安」について

～利用者アンケートより～



特集2

障害者雇用の実際

～ハローワーク統計より～

近年、障害をもちながら働いている方の数が増えているということをご存知でしょうか。

これには様々な要因があります。障害者雇用を推し進めるため、

国の制度そのものが変わっていったということも関わっていますが、

これまで以上に、**就労を希望する障害をもつ方の数が増えている**ということが

大きな影響を与えていると考えられます。

「障害があるけど働きたい。でも…不安なことがたくさんある」

『きらりとてくてく』では、そんな方の声に耳を傾け、

障害者雇用に関わる様々な情報を発信し、

皆さんの夢を叶えるお手伝いできれば、と持っています。

働くことに、何か不安はありませんか？

就職を目指して訓練している方々は、

就職に対してどのような不安をもっておられるのでしょうか。

現在私たちの事業所に通所しておられる利用者の方々に、

「就職にあたって不安なこと」について聞いてみたところ、

以下の様な結果になりました。

(複数回答可)

第1位 人間関係の構築 …75%

- ・職場で上手く打ち解けられるか自信がない。
- ・健常者スタッフとの関係や、障害者のスタッフ同士の関係をうまく構築できるか不安がある。



第2位 体力・体調 …71%

- ・週5日働く体力があるか、自信がない。
- ・負担が増えると、病気の症状が出てきそう。



第3位 ブランクの長さ …58%

- ・ブランク期間のことを面接で聞かれると、なんと答えてよいか困る。
- ・ブランクが長い分、働き続ける自信がない。



第5位 コミュニケーション …54%

- ・報連相が上手く出来ない。
- ・聞きたいことがある時、誰に聞けば良いか分からない。



第6位 仕事を覚えられるか …46%

- ・覚えるのが遅い。
- ・一度に複数のことをするのが苦手。



第3位 職場の理解 …58%

- ・「コミュニケーションの障害」というと、「普通言われ、説明が難しい。」と話せてるやん」と
- ・自分の病気について、分かりやすく会社に伝えることが出来るか。

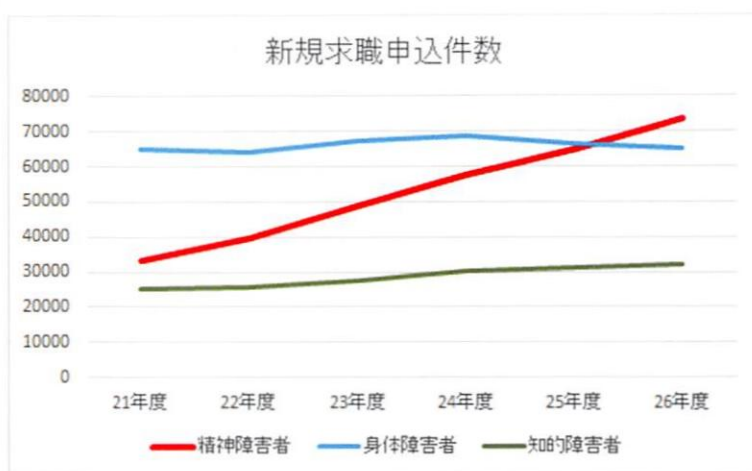


障害者 雇用の 実際

さて、働くことに対して多くの方が様々な不安をいただいておりますが、一方で障害者雇用の状況はどのようになっているのでしょうか？以下に近年の障害者雇用の状況についてまとめてみました。

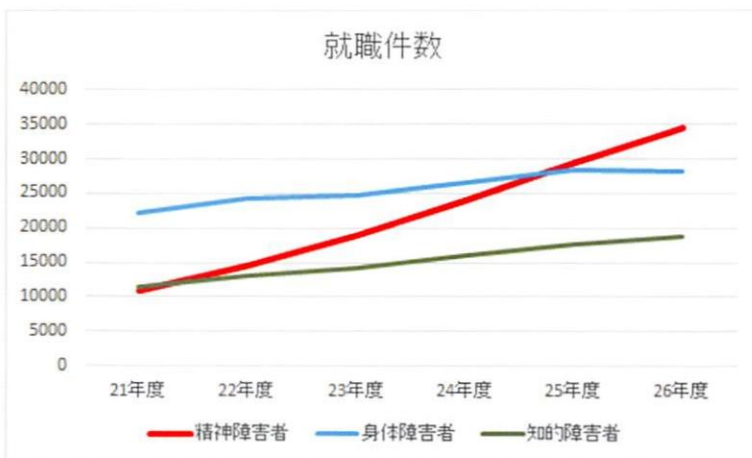
新規求職 申込件数

ハローワークに
新たに求職申込を
された人の数
障害種別



就職件数

ハローワークを
通じて就職された
人の数
障害種別



この2つのグラフから読み取れることは、この5年の間に精神障害者に関しては新規求職申込・就職共にほぼ件数が倍増していることです。

アンケートでみたように、「就労に不安がある」という人が多い一方で、実際に就職しようとする人、そして就職している人が増えています。

「きらりとてくてく」、次号からは「仕事の不安」にどう向き合っていけばいいのか、ひとつひとつ考えていく予定にしています。